

冬の間凍土を剥ぎ取れ！－自然凍土剥ぎ取り法による土壤除染－

福島第一原発から放出された放射性セシウムは土壤表層に蓄積されているとの報告があります。こうした現状を踏まえ、表土を剥ぎ取る農地除染技術が検討されています。ところで、福島県飯舘村では雪が少なく気温が低いため冬季に土壤が凍結します。自然凍結した土壤（凍土）はアスファルトのように固いために、数cmの厚みの凍土を地元農家が所有する重機で容易に剥がすことができます。本学会員の溝口勝教授（東京大学）は、凍土を剥ぎ取ることによって地表面の放射線量が $1.28\mu\text{Sv/h}$ から $0.16\mu\text{Sv/h}$ に低下することを現場実験で確認しました。冬季限定ですが、農業土木的発想から生まれたこの工法には期待が持てます。詳細は学会誌3月号または下記のページからご覧いただけます。

詳細情報：<http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/edrp/fukushima/fsoil/index.html>



写真1 飯舘村佐須字滑の水田における凍土剥ぎ取り実証実験（2012年1月8日）



写真2 板状の塊のまま重機で剥ぎ取られた厚さ5cmの凍土